

第39回横浜ケーブルビジョン放送番組審議会

開催日時 2019年10月25日(金) 11:00～13:00

開催場所 横浜市保土ヶ谷区天王町 2-45-55 モンテファーレ

番組審議委員 全7名『出席7名』

渡邊 敏生会長

太田 由紀枝委員

小磯 守委員

中嶋 孝委員

河内 宗次郎委員

篠崎 顕一委員

渡邊 晶委員

横浜ケーブルビジョン株式会社

代表取締役社長

取締役副社長

経営管理部長

コンテンツ部長

コンテンツ部マネージャー

コンテンツ部マネージャー

経営管理部

コンテンツ部

京 克樹

栗山 高幸

勝又 茂成

江藤 和徳

橋爪 洋喜

田光 あずみ(事務局)

井上 博嗣

渡邊 早貴(司会)

審議事項

- (1) 編成での取り組みについて
- (2) 自主制作番組について
 - ・「地域情報便 じもっと!!」
 - ・「地域スポーツ応援特番」

報告事項

- ・ 放送番組基準についての改定について
- ・ 視聴者からの苦情、意見について
- ・ 訂正放送について
- ・ 監督・関係省庁等公的機関からの注意・指導について

【委員の皆様からのご意見】

- ・人口比率に対し泉区の取材数が少ない印象。もう少し取材に行っても良いのではないかと。
- ・大学生に目を向けた話題や番組がないと思う。沿線の大学は地域イベント等にも参加しており、その活動やサークル紹介をしたら良いのではないかと。
- ・メディア系志望の学生にリポーターをしてもらうのはどうか。
- ・保土ヶ谷バイパスの定点カメラ映像について、BGMがJ-POP中心なので、横浜にゆかりのある曲やYCVのテーマソング等を使用するなどしてはどうか。

- ・高校の漫画研究会の展示会前に「じもつと!!」で取り上げた効果もあつてか、観覧者数やアンケート回収数が多いなどの反響があり、事前の告知も必要だと感じた。
- ・台風等の被害の状況と、その後（復旧）についても取材をしてもらいたい。
- ・小学校の取材をしても全児童が視聴できる環境にない。学校でYCVを視聴出来るよう教育機関へのアプローチも必要ではないかと。
- ・全ての学校の体育館にケーブルを繋げば、災害時の情報提供に役立つのではないかと。
- ・YCVの制作力を活かし、地域の取組みやイベント等の映像制作をビジネスとして展開して欲しい。
- ・地元の民話、昔話を紙芝居にしている活動があり、すでに30本以上制作している。費用負担もするので、この活動を放送したり、撮影をしてDVD化して欲しい。紙芝居を制作している側もモチベーションが上がり今後の活動の糧になるのでビジネスモデルとして検討して欲しい。

- ・いつも多くの幼稚園や保育所の子どもたちを取材していただき、ありがとうございます。
- ・「卒園おめでとう」は、15年続ければ今年撮影した子どもが大学生になり、夢が叶うか叶わないのかの手前ぐらいの年齢になる、その時当時の自分に会えたらいい励みになると思うので長く続けて欲しい。
- ・大学生を取り上げた番組があっても良いのではないかと。

- ・台風により神社の木が7~8本倒れてしまった。撤去には多額の費用がかかるため、災害後の取材・放送をしてもらい募金を募ることができないかと検討している。
- ・地域住民多くが参加する防災訓練や交通安全教室等を実施しているので、来年も取材に来てほしい。

- ・「のんびり一行こう」は、とても面白いので月2回更新から週1回更新にして欲しい。
- ・「じもと遺産」は、新しいものではなく昔からあるものを取り上げているのが良い。このような番組をもっと作って欲しい。
- ・「横浜市空からの映像」は、どの辺りの映像か分からない。ポイントでいいので地名を入れて欲しい。
- ・「じもつと!!」で、いずみ歌舞伎を紹介していたが、いずみ歌舞伎は毎年4月から始め、毎年10月に発表会を行っている。できれば発表会までに何度か取材し、その過程を記録に残して欲しい。

- ・西区の放送エリアがどこなのかを明確にして欲しい。
- ・利益が出ているということは、良い番組ができているということだと思う。
- ・中学生や高校生が清掃活動などのボランティア活動を行っている。身近な子ども達を取り上げた番組も作って欲しい。

【京社長 横浜ケーブルビジョンの業績・活動内容について】

弊社のブランドスローガン『地域いきいき、暮らしわくわく』に基づきこの1年間で主に新サービスの導入、地域との取り組みに力を入れてきた。

【新サービスの導入】

- ・ 格安スマートフォン（2018年7月）
- ・ インテリジェントホーム（2018年7月）
- ・ 東急ガス（2018年9月）
- ・ 4Kテレビ放送（2018年12月）
- ・ テレビ・プッシュ（2019年1月）

【地域との取り組み】

- ・ 「横浜型地域貢献企業」最上位認定取得（2018年度）
- ・ YCV グリーンファーム
- ・ 「災害時における地域支援の協力に関する協定」締結（西区、保土ヶ谷区、旭区、泉区）
- ・ 「災害時における徒歩帰宅支援拠点の開設及び運営強化に関する協定」締結（横浜市）
- ・ 「天王町商店街」のネーミングライツ契約締結 『YCVテレミン商店街』に決定

【栗山副社長 今後の取り組みについて】

地域の皆様の期待に応えられるような、番組づくりに取り組んでいく。

【番組における取り組み】

- ・ 地域に特化した安全・安心情報の提供
- ・ 地域の皆様に「喜んでいただける」「たくさん出演していただける」番組の制作